

おはようございます。

Shortman です。

昨日 12 月 1 日の NY 市場:

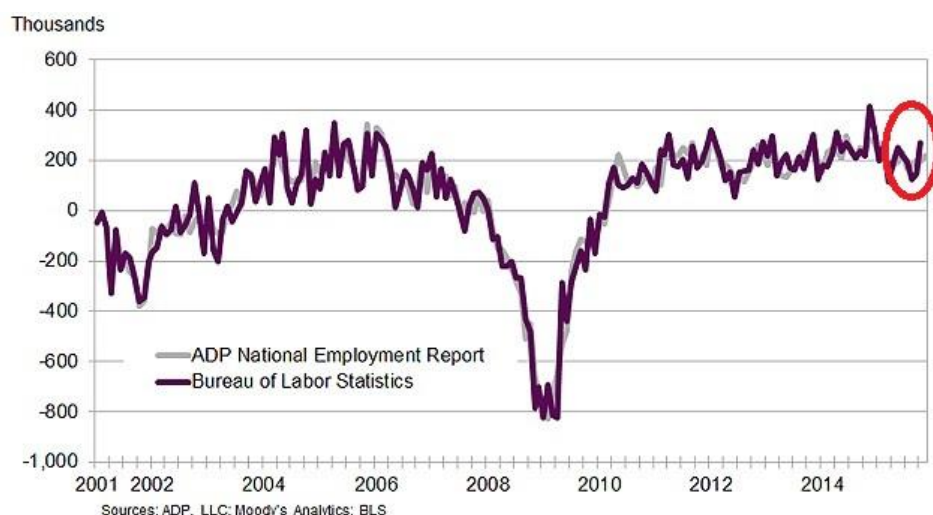
ダウ平均 終値 17,729.68ドル 前日比 158.67 安高(0.89%安)

NASDAQ 終値 5123.22pt 前日比 33.09pt 安(0.64%安)

SP500 終値 2079.51pt 前日比 23.12pt 安(1.10%安)

昨日の NY 株式市場は反落。

NY 原油先物が今年 8 月以降で初となる 1 バレル当たり 40ドルを下回ったことが売り材料となり、エネルギー関連株の売りに。また、昨日公表された 11 月の米オートマチック・データ・プロセッシング社 (ADP) の [米民間部門雇  
用者数](#) は 21.7 万人増となり、6 月以来の大幅増加となり、市場予 19 万人を上回った。また、加。前月は 19 万 6000 人と速報値の 18 万 2000 人増から上方修正された。また、ワシントンで講演をしたイエレン FRB 議長が利上げに前向きな姿勢を示したことで、株価は利上げ観測が高まったことを受けて、株価は反落。取引終盤はカリフォルニア州の銃乱射事件のニュースを受けて急落した。



出所: [ADP National Employment Report November 2015](#)

NY 為替市場は強い 11 月の ADP 米民間部門雇用者数やイエレン FRB 議長の上昇に前向きな発言を受けてドルが買われる展開になった。一時 123.68 円あで上昇。しかし、その後は ECB 理事会や、米雇用統計の発表を控えているために、利益確定の売りが入り、123.11 円まで値を下げ、123.24 円で取引を終了している。参考までに「[CME, FED WATCH](#)」によると、今月の利上げの確率は昨日同様に 75%のままである。

### Shortman's View:

『イエレン議長はワシントンのエコノミック・クラブで講演。「米連邦公開市場委員会(FOMC)が金融政策の正常化を必要以上に遅らせた場合、二大責務が大幅に行き過ぎないように経済を制御するため、当局は急激なペースで金融政策を引き締めざるを得なくなる可能性が高い」と述べ、「そうした急激な引き締めは金融市場を混乱させ、経済をリセッション(景気後退)に逆戻りさせる恐れがある」と警告を発した。』([Bloomberg, イエレン氏: 経済に自信、利上げの遅れ過ぎは市場や景気にリスク \(2\)](#))

こんなに強気なFRB 議長の上昇を行うのは驚き。昨日は[米ISM 製造業総合景況指数](#)が弱い内容だったことから、イエレン FRB 議長が今月利上げに踏み切るといような印象を与える発言をしたことは本当に驚き。ISM の数字が 50 を下回って利上げが行われたのは、1981 年の一度しかない。1981 年(昭和 56 年)の世界経済はどうであっただろうか？

昭和 56 年(1981 年末に)当時の経済企画庁が非常に面白いレポートを出していたので参考までに一部を掲載しておきます。当時と経済環境は 180 度違うのですが、「インフレ対策最優先の金融引締の維持と、それに基づく高金利、さらにはドル高が今回の景気の息切れをもたらした最大の原因である。」([経済企画庁 昭和 56 年年次世界経済報告 世界経済の再活性化と拡大均衡を求めて](#))とのこと。景気の回復を雇用面だけで判断すると、景気が完全に回復していなかった場合、今回の利上げは取り返しのつかないことになる危険性が高い。昨日『仮にこのタイミングで米 FRB のよる利上げが実施された場合、世界経済は深刻な景気後退に陥ることにあるであろう(歴史に名を残す金融政策の失敗になるかも知れないと個人的には期待している)。』と書いた理由はこうしたことを踏まえてである。

昨日はFRBから「[Beige Book \(地区連銀経済報告・通称: ベージュブック\)](#)」が公表されました。内容は前回とほぼ変わらず。景気の回復は大半の地区で「緩慢」なペースで拡大。個人消費支出は、ほぼ全地区で拡大したが、製造業まちまちで、ドル高や海外需要の低迷で輸出が減少傾向。正直、こんな弱い景気回復の状況で、で米国経済の回復が利上げに耐えられるとは思えない。それでもタカ派的な発言を行ったイエレン議長の考えは何であろうか？彼女の判断を分析する必要がある。

まあ、金曜日まで待つしかないですね。

### 定点観測(チャート):

#### ダウ



前日の上げを全て相殺するほどの下げとなった。原油価格の下落や利上げ期待から売りの流れが止まらず。

## VIX(恐怖指数)



株価下落を受けて VIX は上昇。

## ドル円



好調な経済指標を受けて利上げ期待が高まり、ドルはほぼ全面高。ドル円は約2週間ぶりの高値をマーク。しかし、ECB 理事会、金曜日の雇用統計を控えてポジション調整で売りが入った。

## 米 2 年債利回り



利上げ期待から利回りも上昇。

## 金価格



利上げを控えて売りが止まらない。金 2 月限は 1050 ドル付近まで下落し、中心限月としては 5 年 10 カ月ぶりの安値を更新。



## 主な経済指標:

	時刻	経済指標	前回	予想	結果
	9:30	(豪)10月貿易収支	-23.17億AUD	-26.00億AUD	--
	15:30	(仏)7-9月期失業率	10.30%	10.40%	--
	17:00	(トルコ)11月消費者物価指数(前月比)	1.55%	0.40%	--
		(トルコ)11月消費者物価指数(前年比)	7.58%	7.84%	--
	18:30	(英)11月サービス業PMI	54.9	55	--
12月3日(木)	19:00	(ユーロ圏)10月小売売上高(前月比)	-0.10%	0.20%	--
	21:30	(米)11月チャレンジャー人員削減予定数(前年比)	-1.30%	--	--
	21:45	(ユーロ圏)欧州中銀金融政策発表	0.05%	--	--
	22:30	(米)新規失業保険申請件数	26.0万件	26.9万件	--
	0:00	(米)11月ISM非製造業景況指数	59.1	58	--
	0:00	(米)10月製造業受注指数(前月比)	-1.00%	1.40%	--

本日は ECB 理事会が開催されます。量的緩和の規模とドラギ総裁の発言に注目。また、米労働省が毎週発表する米新規失業保険週間申請件数(季調済)が公表されるので注意が必要。

## 本日のピボット:

Pivot(ドル円)		Pivot(ユーロドル)	
H	124.173	H	1.07348
R2	123.826	R2	1.06859
R1	123.437	R1	1.06551
P	123.089	P	1.06062
S1	122.700	S1	1.05754
S2	122.353	S2	1.05265
L	121.964	L	1.04957

米 FRB による年内利上げ期待によるドル買いが継続し ECB 理事会が追加緩和に動き出せば、ドル買い・ユーロ売りが入ると思うが、既に利上げは市場参加者の約 8 割が想定済で、利上げのペースも緩やかと予想されており、案外ドル買い・ユーロ買いは巻き戻しの動きになるかも知れない。ただし、金曜日に雇用統計を控えているので、取引は慎重に。

今日も良い一日を！

Good Duck!

Shortman

注意：投資は自己責任です。